

年 表

■当社事項

■一般・社会事項

1947(昭和22)年

- | | |
|--|---|
| <p>11月 播磨化成工業株式会社設立(18日) 資本金：19万5000円 本店：兵庫県加古郡(現加古川市)加古川町粟津138番地 生松脂蒸留工場建設に着手</p> | <p>4月 労働基準法公布 4月 独占禁止法公布 5月 日本国憲法施行 12月 100万円宝くじ発売 ・ 共同募金(赤い羽根)スタート</p> |
|--|---|

1948(昭和23)年

- | | |
|---|--|
| <p>5月 大阪事務所開設 大阪市東区(現中央区)瓦町 11月 生松脂蒸留工場完成</p> | <p>1月 帝銀事件 6月 昭電疑獄発覚 6月 福井大地震 8月 プロ野球ナイター始まる</p> |
|---|--|

1949(昭和24)年

- | | |
|-----------------------|--|
| <p>1月 生松脂蒸留工場稼働開始</p> | <p>3月 ドッジライン明示 4月 1ドル360円の単一為替制度施行 6月 日本工業規格JISを制定 8月 シャウブ税制改革勧告 10月 中華人民共和国成立 11月 湯川秀樹博士ノーベル物理学賞受賞 ・ 青い山脈、歌・映画が大ヒット</p> |
|-----------------------|--|

1950(昭和25)年

- | | |
|---|---|
| <p>1月 松脂精製工場完成、稼働開始 3月 生松脂蒸留装置増設 9月 脂肪酸蒸留装置完成</p> | <p>6月 朝鮮戦争勃発 9月 ジェーン台風近畿縦断 ・ 特需景気起る</p> |
|---|---|

1951(昭和26)年

- | | |
|---|---|
| <p>2月 兵庫松脂事業協同組合(現協同組合ハリマ化成協力会)設立 出資金：50万円 生松脂採取ならびに金融の一部門を担当 3月 生松脂蒸留装置大改造 前処理装置、水洗装置等を設置 5月 合成樹脂の生産開始</p> | <p>6月 日本がユネスコ、ILOに正式加盟 9月 サンフランシスコで対日講和条約調印</p> |
|---|---|

1952(昭和27)年

- | | |
|--|--|
| <p>1月 トール油の試験生産開始 2月 合成樹脂工場増築 合成樹脂反応釜<P>新設 5月 東京事務所開設 東京都中央区日本橋 12月 トール油蒸留装置完成</p> | <p>4月 対日講和条約・日米安全保障条約発効 5月 血のメーデー事件 8月 日本、国際通貨基金(IMF)に加盟</p> |
|--|--|

1953(昭和28)年

- | | |
|------------------------------|---|
| <p>9月 合成樹脂反応釜<Q>新設</p> | <p>2月 NHKテレビ本放送開始 7月 朝鮮戦争休戦協定調印</p> |
|------------------------------|---|

- ・ 「君の名は」流行

1954(昭和29)年

- | | | | |
|----|---|----|------------------|
| 3月 | 加古川市野口町に新工場用地1万586㎡買収 野口工場建設に着手 | 3月 | 第五福竜丸ビキニの水爆実験で被爆 |
| 5月 | 大阪事務所移転 大阪市東区(現中央区)道修町く神戸銀行(現さくら銀行)大阪支店く神戸ビル6階(82㎡)に移転 | 5月 | 厚生年金保険法公布 |
| 8月 | 野口工場にトール油蒸留装置(A釜)完成 | 7月 | 自衛隊発足 |
| 9月 | 脂肪酸蒸留装置野口工場へ移転完了 | ・ | 力道山のプロレス盛況 |
| 9月 | 本社工場(粟津工場)、ロジン・テレピン油工場、JIS規格表示(許可番号3376 JIS K5908)の認可を受ける | | |

1955(昭和30)年

- | | | | |
|----|--|-----|----------------|
| 7月 | 播磨商事(株)(現ハリマ化成商事)設立 資本金：50万円 販売部門を分離し、播磨商事を総販売代理店に | 2月 | 日本生産性本部発足 |
| | | 6月 | 初のアルミ貨(1円)発行 |
| | | 11月 | 保守合同なり、自由民主党結成 |
| | | 12月 | 平均寿命、女68歳男64歳 |
| | | ・ | 神武景気始まる |

1956(昭和31)年

- | | | | |
|----|---------------------------------|-----|--|
| 4月 | 野口工場 テレピン油精製装置完成 | 5月 | 科学技術庁発足 |
| 4月 | 野口工場 分解設備完成 | 7月 | 経済企画庁、経済白書「日本経済の成長と近代化」発表、「もはや戦後ではない」が流行語に |
| 5月 | 野口工場 コルニッシュボイラ増設 | 10月 | 日ソ国交回復共同宣言調印 |
| 6月 | 製紙用サイズ剤の生産開始 ペーストサイズ「ハーサイズ」開発 | 12月 | 国連総会で、日本の国連加盟を全会一致で可決 |
| 8月 | 脂肪酸製造装置(B釜)野口工場へ移転 | ・ | 映画ブーム、全国観客動員数年間10億1270人 |
| 8月 | フタル酸樹脂生産開始(K釜) フタル酸樹脂「ハリフタール」開発 | | |

1957(昭和32)年

- | | | | |
|-----|-------------------------|----|------------------------|
| 1月 | 合成樹脂製造装置(O、P、Q釜)野口工場へ移転 | 1月 | 南極観測始まる |
| 3月 | 粟津工場の残存設備を野口工場へ移転 | 8月 | 東海村原子力研究所に初めて「原子の火」ともる |
| 8月 | トール油パイロットプラントの建設 試験運転開始 | 9月 | ソ連世界初の人工衛星打ち上げ成功 |
| 9月 | フタル酸樹脂工場完成(K、V1釜) | ・ | なべ底不況 |
| 9月 | 野口工場付属設備(変電室、食堂、守衛室)完成 | | |
| 10月 | 加古川市へ1000万円寄付 教育施設費に | | |
| 11月 | 創立10周年記念式典挙行(18日) | | |

1958(昭和33)年

- | | | | |
|----|----------------------------|----|----------------|
| 1月 | (株)橋上屋(現ハリマ食品)設立 資本金：100万円 | 1月 | アメリカ人工衛星打ち上げ成功 |
| 2月 | トール油精留プラント設計着手 | 4月 | 売春防止法施行 |

| ■当社事項 | ■一般・社会事項 |
|--|--------------------------------|
| 3月 社内報「播成」創刊 | 5月 長崎の中国切手展で中国の国旗引き ずり降ろし事件 |
| 3月 野口社宅〈第1棟〉6戸 完成 | 12月 1万円札発行 |
| 5月 トール油精留プラント建設着手 | 12月 東京タワー完成、高さ333m |
| 10月 トール油精留プラント完成 | |
| 10月 トール油精留プラント、通産・大蔵両省より新技術企業化 制度の承認を受ける（28日） | |
| 12月 野口工場用地拡張 隣接地4万486㎡を買収 | |

1959(昭和34)年

| | |
|---|----------------------------|
| 2月 社歌制定 社歌1「加古の流れに」 | 1月 メートル法実施 |
| 6月 製紙用排水処理剤の生産開始 浮遊法白水回収助剤「ハバ ラー7」開発 | 4月 皇太子明仁親王、正田美智子さんと 御成婚 |
| 7月 橋上屋を播磨食品工業(株)に商号変更 | 4月 国民年金法公布 |
| 12月 サイズ工場移転 マレイン化釜〈Z〉新設 | 9月 伊勢湾台風 ・ 岩戸景気 |

1960(昭和35)年

| | |
|--|-----------------------------|
| 4月 長谷川末吉社長欧米視察出発 世界のロジン、トール油事 情の調査と各国メーカーの動向視察のため〈旅程約2カ月〉 | 1月 三池争議 |
| 6月 富士事務所開設 製紙用薬品の販売および工場建設準備 | 6月 日米新安全保障条約発効 |
| 8月 フタル酸樹脂工場拡張(K、V1、V2釜) | 9月 カラーテレビ放送開始 |
| 10月 排水処理設備完成 | 12月 池田内閣所得倍増計画を決定 ・ 安保闘争 |
| 10月 トール油精留プラントC塔増設 | |
| 12月 野口工場用地拡張 隣接地1万9437㎡買収 | |

1961(昭和36)年

| | |
|--|----------------------------|
| 3月 韓国へ生松脂蒸留プラント輸出 | 4月 ソ連世界初の有人衛星船の打ち上げ に成功 |
| 3月 野口社宅〈第2棟〉6戸 完成 | 9月 第二室戸台風近畿地方に猛威 |
| 4月 労働組合結成(23日) | |
| 6月 富士工場完成 静岡県吉原市(現富士市)伝法に工場が完 成し、製紙用薬品の製造を開始 | |
| 6月 野口工場厚生施設(更衣室、浴室、便所)新築 | |
| 7月 液体サイズ剤「ハーサイズL-750、L-800」開発 | |
| 7月 野口工場用地拡張 隣接地4365㎡買収 | |
| 8月 フタル酸樹脂工場にメラミン樹脂反応装置完成 | |
| 11月 経営理念発表 「1. 堅実な経営 2. 人を大切にする経営 3. 技術的進歩に極めて積極的な経営」 | |

1962(昭和37)年

| | |
|---|---------------------------------|
| 1月 社是発表 「理解・協力・信頼」 | 1月 東京都の人口1000万人突破 |
| 2月 播磨化工資材(株)設立 資本金：1,000万円 資材購入部門を独立させる | 8月 戦後初の国産旅客機YS-11完成 |
| | 11月 日中総合貿易に関する覚え書きに調 印(LT貿易) |

- 2月 東京事務所移転 東京都中央区八重洲 新光ビルへ移転
- 3月 本社事務部門を野口工場へ移転
- 3月 新フタル酸樹脂工場完成 (V3釜)
- 5月 伝票ホルダー式会計導入
- 6月 北海道工場完成 北海道白老郡白老町に工場を完成し、製紙用薬品の製造を開始
- 6月 長砂社宅4棟8戸 鮎塚社宅1棟2戸 完成
- 7月 野口工場用地拡張 隣接地4487㎡買収
- 9月 紙力増強剤「ハーmaidA-10、A-15」開発
- 12月 フタル酸樹脂工場爆発事故 (12日)

1963 (昭和38) 年

- | | |
|--|------------------------|
| 3月 ㈱田辺経営相談所 (現タナベ経営) による経営診断実施 | 6月 関西電力黒四ダム完成 |
| 4月 兵庫松脂事業協同組合を協同組合播磨化成工業協会に名称変更 | 11月 ケネディ大統領、グラスで暗殺さる |
| 6月 ハイデン・ニューポート・ケミカル社 (現ヒュルズ・アメリカ社) と技術提携 (金属石鹼: ドライヤー) | 11月 日米間通信衛星によるテレビ中継に成功 |
| 11月 本店移転 兵庫県加古川市野口町水足671-4へ (1日) | |
| 11月 フタル酸樹脂「ハリフタル915」開発 | |
| 12月 大阪事務所移転 神戸ビル3階 (145㎡) へ | |

1964 (昭和39) 年

- | | |
|------------------------------------|-----------------|
| 1月 本社部門を大阪へ移転 神戸ビル3階へ | 4月 日本、IMF8条国に移行 |
| 1月 ドライヤー工場完成 (旧フタル酸樹脂工場に) | 4月 日本、OECDに正式加盟 |
| 4月 恒温恒湿室完成 | 10月 東海道新幹線開業 |
| 6月 適格退職年金制度導入 | 10月 東京オリンピック開催 |
| 8月 合成工場反応釜新設およびプレーカー設置 | |
| 8月 床材用樹脂生産開始 「ハーライム」開発 | |
| 8月 ガスクロマト分析機購入 | |
| 9月 名古屋事務所開設 名古屋市中区音羽町 (現大須) 音羽ビル4階 | |

1965 (昭和40) 年

- | | |
|--|----------------------|
| 4月 富士研究室完成 (富士工場内) | 2月 アメリカ、ベトナム北爆開始 |
| 7月 シャープコンピュータ (クスダックス) 導入 | 6月 日韓基本条約調印 |
| 9月 台風23号により野口工場に被害 | 7月 名神高速道路全線開通 |
| 10月 本社分室設置 総務、経理部門を大阪市東区 (現中央区) 平野町新杵ビルへ移転 | 9月 国鉄 (現JR) みどりの窓口開設 |
| 11月 アクリル樹脂「ハリアクロン」開発 | |

1966 (昭和41) 年

- | | |
|---------------------------------|----------------|
| 3月 新製品「ハートール脂肪酸C、1-P」の製造・販売開始 | 3月 日本の総人口1億人突破 |
| 6月 長谷川末吉社長 ノーデックス世界会議に出席 (オランダ) | 4月 メートル法完全実施 |

| ■当社事項 | ■一般・社会事項 |
|-------|----------|
|-------|----------|

- | | | | |
|-----|-----------------------------------|----|-------------|
| 6月 | 新蒸留設備完成 (D釜) | 8月 | 中国、文化大革命始まる |
| 12月 | 野口工場新井戸完成 | | ・ いざなぎ景気 |
| 12月 | 東京工場用地買収 埼玉県草加市草加八潮工業団地 1万450㎡を取得 | | |

1967 (昭和42) 年

- | | | | |
|--------|---|----|------------------------------|
| 1月 | 長谷川末吉社長海外視察 米国、メキシコ他 | 5月 | ケネディ・ラウンド (関税一括引下げ交渉) 主要国で妥結 |
| 1月 | 安定剤工場完成 紫外線吸収剤の生産開始 「ハリソープ」開発 | 6月 | アラブ諸国とイスラエル間で戦闘始まる (第3次中東戦争) |
| 3月 | 第一ゼネラル(株) (現ヘンケルジャパン) 野口工場内に誘致 | 8月 | 公害対策基本法公布 |
| 5月 | 米国モンサント社と技術提携 (紫外線吸収剤) | | ・ 日本の自動車保有台数1000万台 |
| 6月 | 合成樹脂添加剤 滑剤の生産開始 「バンループ」開発 | | |
| 7月 | 野口工場 ボイラ増設 | | |
| 9月 | トール油精留プラント能力アップ 生産能力3倍に (7000トンから2万トンに) | | |
| 10~11月 | 創立20周年記念パーティー開催 関係先を招き、富士、名古屋、大阪、東京、加古川にて順次開催 | | |
| 11月 | 中央研究所、中間試験工場完成 (野口工場敷地内) | | |
| 11月 | 創立20周年記念式典挙行 野口、東京、富士、北海道で開催 (18日) | | |
| 11月 | 東京工場完成 埼玉県草加市草加八潮工業団地に工場が完成し、塗料用樹脂、ハードレジンの製造を開始 | | |
| 11月 | 東京社宅2棟10戸完成 | | |
| 11月 | 加古川市へ500万円寄付 市民会館建設資金、消防施設、教育奨学金基金に | | |
| 12月 | 高砂輸入基地完成 高砂市高砂町向島に 第1船入港 | | |

1968 (昭和43) 年

- | | | | |
|-----|---|-----|-----------------|
| 2月 | 三好化成工業(株)設立 資本金：1億円 | 6月 | 大気汚染防止法、騒音規制法公布 |
| 4月 | 社内預金制度廃止し、持家融資制度導入 | 7月 | 郵便番号制始まる |
| 4月 | 大阪本社 神戸ビルに統合し、分室 (新杵ビル) 閉鎖 本社部門3階 (145㎡) に、営業、資材、開発部門4階 (127㎡) に | 12月 | 3億円強奪事件 |
| 4月 | 野口独身寮「清風寮」完成 | | |
| 4月 | 東京独身寮「有朋寮」完成 | | |
| 6月 | フタル酸樹脂工場 反応釜増設 | | |
| 8月 | 長谷川末吉社長、加古川商工会議所副会頭に就任 | | |
| 10月 | コンピュータ導入、FACOM230-10 本格稼働 販売管理、購買管理業務スタート | | |
| 10月 | 三好化成本社工場完成 | | |
| 11月 | 野口工場を加古川工場に改称 (1日) | | |

1969(昭和44)年

- | | | | |
|-----|--|----|---|
| 8月 | 粟津工場解体、撤去 | 5月 | 東名高速道路全線開通 |
| 9月 | ライナー用撥水剤「ハリコートC-300」開発 | 6月 | 経済企画庁が昭和43年度のGNPが自由世界第2位と発表 |
| 9月 | 大阪薬業健康保険組合に加入(1日) | 7月 | 米国アポロ11号、人類初の月面着陸 ・「男はつらいよ」第1作公開 ・学生運動広がる |
| 11月 | 大阪本社 神戸ビル6階(487㎡)に移転し、統合 | | |
| 12月 | 仙台工場完成 宮城県名取郡岩沼町字桜池(現岩沼市末広)に工場が完成し、製紙用薬品の製造を開始 | | |

1970(昭和45)年

- | | | | |
|-----|-----------------------|-----|--------------------|
| 7月 | 長谷川末吉社長海外視察 米国、メキシコ他 | 2月 | 国産初の人工衛星「おおすみ」打ち上げ |
| 9月 | 富士工場紙力増強剤工場完成 | 3月 | 日本万国博覧会開幕(大阪) |
| 10月 | 合成工場解体 | 12月 | 水質汚濁防止法、廃棄物処理法等公布 |
| 11月 | 板紙用紙力増強剤「ハーマイドB-15」開発 | | |
| 11月 | 長谷川末吉社長、加古川商工会議所会頭に就任 | | |
| 12月 | 加古川工場排水処理装置完成(加圧浮上方式) | | |

1971(昭和46)年

- | | | | |
|-----|-------------------------------------|-----|------------------------------|
| 4月 | 合成ゴム用乳化剤工場完成 合成ゴム用乳化剤「バンデイス」開発 | 6月 | 悪臭防止法公布 |
| 6月 | コンピュータのグレードアップ 生産管理、在庫管理、人事管理業務スタート | 7月 | 環境庁発足 |
| 7月 | ドライヤー工場火災爆発事故(15日) | 8月 | アメリカ、ドル防衛策発表(ドルショック) |
| 9月 | 日米合弁会社「播磨エムアイディ(株)」設立の記者発表 | 12月 | 1ドル308円に切り上げ ・NHKがオールカラーに |
| 10月 | 加古川工場を加古川製造所に改称(1日) | | |
| 12月 | 加古川製造所、富士工場間タンク貨車による高濃度サイズ剤輸送開始 | | |

1972(昭和47)年

- | | | | |
|-----|---|----|------------------------|
| 1月 | 播磨エムアイディ設立 資本金：3億円 | 2月 | 札幌冬季オリンピック、日の丸飛行隊メダル独占 |
| 3月 | 播磨観光開発(株)設立 資本金：3000万円 ゴルフ場建設のための会社設立 岡山県勝田郡勝田町に用地買収開始 | 2月 | 連合赤軍、浅間山荘事件 |
| 7月 | 「NS-1作戦」キックオフ ネーパルストアズ業界NO.1をめざし、活動を開始 | 3月 | 山陽新幹線(新大阪-岡山)開通 |
| 11月 | 広報誌「播磨技術ニュース」創刊(1日) | 5月 | 15日、沖縄施政権返還、沖縄県発足 |
| | | 7月 | 第1次田中内閣成立(日本列島改造論発表) |
| | | 9月 | 日中国交正常化の共同声明に調印 |

1973(昭和48)年

- | | | | |
|----|---------------------------------------|-----|------------------------------------|
| 2月 | 長谷川末吉社長 ブラジル訪問(初の渡伯) | 2月 | 外国為替、変動相場制へ移行 |
| 4月 | 東京工場反応釜増設 | 4月 | 列島改造土地ブーム、地価1年間で30%暴騰 |
| 4月 | ブラジル・パラナ州経済使節団来訪 | 10月 | 第1次石油危機、OPEC原油価格70%近く値上げ(第4次中東戦争始) |
| 4月 | 四国工場完成 愛媛県伊予三島市村松町に工場を完成し、製紙用薬品の製造を開始 | | |

| ■当社事項 | ■一般・社会事項 |
|---|------------------------------------|
| 7月 高砂市伊保港に、伊保物流基地完成（借用タンク） | まる） |
| 7月 防湿紙処方「ハリコートC-300/ラテックス」開発 | 10月 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律公布 |
| 8月 播磨エムアイディ加古川工場完成 世界初のクローズドシステムによるトール油精留プラント完成 | ・ オイルショックでトイレットペーパーなど買いだめされ、品不足となる |
| 10月 新マレイン化の技術開発によりサイズ性能大幅アップ | |
| 10月 富士工場独身寮、社宅「白妙寮」完成 | |
| 11月 大阪薬業厚生年金基金に加入（1日） | |
| 11月 大阪国税局より「自主監査モデル法人」の初の認定 | |
| 11月 長谷川末吉社長、国際ネーバルストアズ会議（米国）に初参加 | |

1974(昭和49)年

| | |
|---|--------------------------------|
| 1月 東京営業所移転 東京都中央区八重洲 南星八重洲ビル 5、6階へ | 1月 石油・電力の使用節減規制実施 |
| 3月 合成ゴム用乳化剤工場増設（トール油ベースの混酸タイプの製造開始） トール油混酸タイプの不均化技術開発 | 4月 春闘史上最大のゼネスト（2日間日本列島マヒ） |
| 5月 長谷川末吉社長 欧米、ブラジル視察、テネコ国際会議（ユーゴ）出席 | 12月 岡山県水島コンビナートから重油流出、瀬戸内海に大被害 |
| 7月 北海道工場増設 紙力増強剤工場完成 | |
| 7月 保養所「南紀ヴィラ」オープン | |
| 8月 ブラジル現地法人ハリマ・ド・ブラジル社を設立 資本金：100万クルゼイロ | |
| 10月 加古川市へ5000万円寄付（緑化基金として） | |

1975(昭和50)年

| | |
|---------------------------------------|----------------------|
| 2月 ブラジル現地法人ハリマ・ド・パラナ社設立 資本金：400万クルゼイロ | 2月 政府、経済不況対策を決定 |
| 7月 保養所「ヴィラ神崎」オープン | 3月 新幹線東京、博多間全線開通 |
| 8月 コンピュータのリプレース 売掛金、買掛金の自動支払システムスタート | 12月 石油コンビナート等災害防止法公布 |
| 10月 作州武蔵カントリー倶楽部（18ホール）オープン（25日） | 12月 石油備蓄法公布 |

1976(昭和51)年

| | |
|----------------------------------|-------------------|
| 2月 ブラジル ハリマ・ド・パラナ社現地工場完成 | 2月 ロッキード事件発覚 |
| 10月 長谷川末吉社長、ネーバルストアズ国際会議（米国）にて講演 | 9月 毛沢東死去 |
| 10月 播磨食品加古川工場完成 加古川市野口町水足 | ・ 日本車、対米輸出100万台突破 |
| 11月 「V-5 作戦」開始 | |
| 11月 ポリアクリルアミドのマンニッヒ変性技術開発 | |
| 12月 加古川製造所 紙力増強剤設備完成 | |

1977(昭和52)年

| | |
|-------------------------------|--------------------|
| 2月 トール油の不均化反応に関する研究で油脂技術優秀賞受賞 | 2月 消防法大幅改正、特定タンク規制 |
|-------------------------------|--------------------|

■当社事項

■一般・社会事項

- 3月 長谷川末吉社長 海外視察 欧米、南ア、ブラジルの各地
- 6月 東京工場 印刷インキ用樹脂の生産開始 印刷インキ用樹脂（ライムレジン、フェノール樹脂）開発
- 8月 大阪営業所 神戸ビル4階へ移転
- 9月 兵庫県都市対抗軟式野球大会 加古川市代表で出場 準決勝戦引き分け抽選負けで涙
- 9月 米国パルプケミカルズ協会加入（播磨エムアイディ）
- 10月 創立30周年記念式典挙行 加古川市民会館にて開催(26日) 松友会〈定年退職者の会〉発足
- 11月 中期5ヵ年計画発表
- 12月 中小企業研究センター賞受賞

- 7月 漁業水域200カイリがスタート
- 11月 円高1ドル240円台の攻防
・ 内閣広報室が「国民の9割は自分を中流と考えている」という調査結果を発表

1978(昭和53)年

- 3月 表面サイズ剤「ハーサイズKN-160K」開発
- 8月 コンピュータリプレース 第1次オンラインスタート
- 9月 長谷川吉弘海外部長 ネーバルストアズ国際会議（米国）に出席
- 9月 ブラジル現地法人レジテック社設立 資本金：120万クルゼイロ
- 10月 加古川製造所 EM工場完成 エマルションサイズ剤「ハーサイズEM-305」開発

- 5月 新東京国際空港（成田）開港
- 8月 日中平和友好条約調印
- 10月 円高1ドル175円50銭を記録

1979(昭和54)年

- 1月 仙台工場 ワックスエマルション生産開始
- 6月 従業員持株会制度発足
- 7月 レジテック社に5名派遣 不均化ロジン製造技術指導
- 9月 長谷川吉弘営業本部長兼海外部長 ネーバルストアズ国際会議（米国）で講演
- 10月 加古川製造所 合成ゴム用乳化剤工場増設
- 10月 東京工場 ハードレジン能力アップ工事完了
- 10月 長谷川末吉社長 加古川商工会議所名誉会頭就任

- 1月 米中国交回復
- 4月 OPEC原油値上げ決定
- 6月 第5回先進国首脳会議「東京サミット」開催
- 12月 ソ連、アフガニスタン侵攻

1980(昭和55)年

- 1月 中国営業所開設 山口県徳山市弥生町三恵ビル2階
- 2月 米国現地法人ハリマUSA社設立 資本金：25万米ドル
- 3月 保養所「熱海咲見町ハイット」オープン
- 4月 創業30年史「技術に生きる」発行（1日）
- 5月 工場緑化優秀賞を受賞（加古川製造所）
- 5月 加古川卸団地に進出 播磨商事、播磨化工資材
- 7月 保養所「リッチライフ有馬2」オープン
- 10月 中央研究所新館完成
- 10月 定年延長と関係諸制度を改善
- 11月 不均化ロジンエステル系タッキファイヤー（DSシリーズ）開発

- 5月 石油代替エネルギー開発導入促進法公布
- 7月 日本を含め主要西側諸国、モスクワ五輪ボイコット
- 9月 イラン、イラク戦争始まる
- 12月 日本の年間自動車生産台数1000万台突破
・ ガンが死因のトップに

■当社事項

■一般・社会事項

1981 (昭和56) 年

- | | | | |
|------|-----------------------------|-----|-----------------------|
| 3月 | 伊保物流基地 播磨エムアイディと共同で取得 | 2月 | 中国残留孤児47人初来日 |
| 3月 | 新日本油化(株)設立 資本金：500万円 | 3月 | 「神戸ポートアイランド博覧会」開幕 |
| 3月 | 中央研究所 オンライン情報検索システム導入 | 4月 | 郵便料金値上げ（はがき40円、封書60円） |
| 3月 | AKD系中性サイズ剤「ハーサイズAK-112」開発 | 12月 | 京都大学福井謙一教授がノーベル化学賞を受賞 |
| 3月 | 東京社宅、独身寮「有朋ハイツ」完成 | | ・ 民間企業の定年は60歳が55歳を上回る |
| 3～9月 | 神戸ポートアイランド博覧会「ポートピア'81」に出展 | | |
| 8月 | 播磨エムアイディ 新大型蒸気ボイラ設置 | | |
| 10月 | 長谷川末吉社長 ブラジルにおいてグラン・クルース章受章 | | |

1982 (昭和57) 年

- | | | | |
|----|------------------------------------|-----|------------------------|
| 2月 | 紙力増強剤（アニオン/カチオン併用処方）開発 | 6月 | 東北新幹線、上越新幹線（11月）相次いで開通 |
| 4月 | 長谷川末吉社長 科学技術庁長官賞「科学技術功労者」賞を受賞（16日） | 10月 | 商法大幅改正施行 |
| 8月 | コンピュータリプレース 情報検索システムスタート | | ・ 消費者金融全盛 |
| 8月 | 第1回「松籟の日」記念行事開催 | | |

1983 (昭和58) 年

- | | | | |
|-----|-----------------------------|----|---------------------|
| 3月 | 財団法人松籟科学技術振興財団設立（1日） | 3月 | 中国自動車道全通 |
| 4月 | 松籟科学技術振興財団第1回理事会および記念式典開催 | 4月 | 東京ディズニーランド開園 |
| 5月 | 長谷川末吉社長 加古川納税協会会長に就任 | | ・ テレビ番組「おしん」が全国的ブーム |
| 6月 | 中央研究所 技術情報検索システム（HATIS）スタート | | |
| 11月 | インキ用紫外線硬化型樹脂「バンビームUV-22A」開発 | | |

1984 (昭和59) 年

- | | | | |
|-----|---|-----|----------------------|
| 1月 | 「PC-VPM活動」開始 | 1月 | 東証ダウ平均株価が史上初めて1万円台乗せ |
| 2月 | 「NH-40作戦」開始 | 3月 | グリコ・森永怪人21面相事件 |
| 3月 | 決算期を3月に変更（5カ月決算） | 5月 | NHK衛星テレビ放送開始 |
| 4月 | 東京工場 耐震工事実施 | 11月 | 新1万円札、5千円札、千円札発行 |
| 4月 | 播磨ゴルフセンター（ゴルフ練習場）オープン | | ・ 日本の人口1億2000万人超に |
| 6月 | 北海道工場 研究室完成 | | ・ 平均寿命男女とも世界一に |
| 7月 | 播磨化工資材を吸収合併 | | |
| 8月 | エマルション系タッキファイヤー開発 | | |
| 8月 | 広報誌「播磨技術ニュース」を「HARIMA QUARTERLY」にリニューアル | | |
| 10月 | 作州武蔵カントリー倶楽部因幡コース（9ホール）オープン | | |
| 10月 | 健康食品「松籟霊芝」発売 | | |
| 11月 | 北海道工場 エマルションサイズ設備完成 | | |
| 12月 | イミダゾリン系電着塗料用添加剤「ハートールM-33」開発 | | |

1985 (昭和60) 年

- | | | | |
|----|---------------|----|--------------|
| 3月 | 東京社宅「松籟ハイツ」完成 | 3月 | 科学万博「つくば博」開幕 |
|----|---------------|----|--------------|

■当社事項

■一般・社会事項

- 4月 作州武蔵カントリー倶楽部「ホテル作州武蔵」(現別館)オープン
- 8月 筑波研究コンソーシアムに参加 サテライト棟に筑波研究室開設
- 11月 大阪証券取引所市場第二部に上場(5日)
358万4000株発行(発行価格1株につき1460円)総額52億3264万円、新資本金31億1496万520円
- 12月 播磨エムアイディ ダイマー酸工場完成

- 4月 日本電信電話(株)(NTT)、日本たばこ産業(株)(JT)発足
- 5月 男女雇用機会均等法公布
- 8月 日航ジャンボ機が墜落

1986(昭和61)年

- 1~3月 朝日新聞 当社上場ドキュメント連載
1月25日~3月29日 10回
- 4月 3割5分無償増資を実施
- 5月 ケーシー(有)設立 資本金:5000万円
- 6月 上場後初の株主総会開催<第44期定時株主総会>
- 8月 コンピュータリプレース 全社オンライン化実施
(多機能端末および第2次情報検索システム導入)
- 12月 ドル建て新株引受権付社債発行(ドル建てワラント債)
発行総額3000万ドル
- 12月 東京事務所移転 東京都中央区八丁堀 5階建ビル1棟へ移転(延べ面積660㎡)
- 12月 洗浄法脱墨助剤「ハリトップP-100」開発

- 4月 ソ連のチェルノブイリ原子力発電所で事故
- 11月 三原山が大噴火

1987(昭和62)年

- 2月 加古川製造所 顕色剤工場(V工場)完成
ノーカーボン紙用顕色剤(JNC)開発
- 4月 ケーシー 本社工場完成 ポリアミド樹脂製造開始
- 6月 プリント基板の表面実装ソルダーペースト開発
- 11月 創立40周年記念式典挙行(22日)
チャレンジ1000(長期ビジョン)発表
- 11月 筑波研究所完成 茨城県筑波郡豊里町東光台(現つくば市東光台)の研究学園都市に研究所を開設
- 12月 筑波社宅「筑波松籟ハイツ」完成

- 4月 国鉄民営化「JR」発足
- 4月 円急騰1ドル130円台へ
- 6月 東証ダウ2万5000円台に

1988(昭和63)年

- 3月 チャレンジ1000(長期ビジョン)アクティブ計画キックオフ
- 3月 公募新株発行 280万株発行(発行価格1株につき1506円)
総額42億1680万円 新資本金52億2336万520円
- 3月 新規エマルションサイズ剤「ハーサイズNES-405」開発
- 4月 E-1プロジェクトチーム発足
- 4月 加古川製造所 アクリル樹脂製造設備増設
- 5月 バイオ事業化第1弾「胡蝶蘭メリクロン苗」出荷開始
- 6月 社長交代 長谷川末吉代表取締役会長に

- 3月 青函トンネル開通
- 4月 瀬戸大橋開通
- 6月 牛肉・オレンジ自由化で合意
- 12月 東証ダウ3万円大台乗せ

■当社事項

■一般・社会事項

長谷川吉弘代表取締役社長に（29日）
12月 ハリマフィロソフィー発表

1989 (昭和64・平成元)年

| | | | |
|-----|--|-----|---------------------------|
| 3月 | 東京証券取引所市場第二部に上場（6日） | 1月 | 7日、昭和天皇崩御、皇太子明仁親王即位、平成と改元 |
| 4月 | MS工場（マイクロソルダー工場）完成 | 4月 | 消費税（3%）導入 |
| 4月 | 新富士工場完成 静岡県富士市比奈 敷地面積1万7000㎡ 製紙用薬品・塗料・印刷インキ・接着剤用樹脂の製造 | 6月 | 中国天安門事件 |
| 4月 | TAPPI（米国）でポリアクリルアמידデュアルポリマーシステムについて発表 | 11月 | 連合（全日本民間労働組合総連合会）結成 |
| 6月 | 長谷川末吉会長 ブラジル・パラナ州政府よりオルデン・エスタドゥアル・ピニェイロ勲章受章 10月伝達式 | 11月 | ベルリンの壁崩壊 |
| 7月 | 新規紙力増強剤「ハーmaid EX-300」シリーズ開発 | | |
| 9月 | 長谷川末吉会長 ブラジル連邦共和国よりクルゼイロ・ド・スル勲章「南十字星章」受章 90年1月伝達式 | | |
| 10月 | 新社名「ハリマ化成株式会社」と新マーク発表 新ユニホーム発表 | | |
| 11月 | 長谷川末吉会長 勲三等瑞宝章受章 | | |

1990 (平成2)年

| | | | |
|-----|---|-----|--------------------|
| 1月 | インターネブコン・ジャパンに出展 以降継続出展 | 3月 | ソ連の初代大統領にゴルバチョフが就任 |
| 1月 | 公募新株式発行完了ならびにドル建て新株引受権付社債のワラント権行使始まる 新資本金75億4736万520円 | 10月 | 東西ドイツ統一 |
| 3月 | 米国プラズミン・テクノロジー社へ資本参加 出資：6600米ドル | 11月 | 天皇の即位の礼（即位宣言）が行われる |
| 4月 | 新社名「ハリマ化成株式会社」と新マークにユニホームを一新 | | |
| 4月 | 社内報「播成」から「はりま」へ | | |
| 4月 | 人事トータルシステムスタート（人材育成型能力主義を目指して） | | |
| 4月 | 秋田十條化成(株)資本参加 資本金：1億円 | | |
| 6月 | ハリマメディカル(株)設立 資本金：5000万円 | | |
| 9月 | 東京・大阪証券取引所市場第一部に指定替え（3日） | | |
| 10月 | トール油精溜プラント タワー103更新 | | |
| 11月 | 秋田十條化成 紙力剤工場竣工 | | |
| 11月 | ハリマフードサービス(株)設立 資本金：5000万円 | | |
| 12月 | 加古川製造所 紙力増強剤工場（A工場）完成 | | |
| 12月 | ハリマメディカル(株) 滅菌サービスセンター竣工 | | |

1991 (平成3)年

| | | | |
|----|--------------------------------|-----|-----------------|
| 2月 | 旧精溜塔（トール油精溜プラント）撤去 タンク群合理化工事実施 | 1月 | 湾岸戦争勃発 |
| 2月 | 加古川製造所 省エネルギー管理優良管理工場表彰受賞 | 6月 | 雲仙普賢岳噴火、火砕流で大被害 |
| 2月 | (株)ハリマメディカル北海道 設立 資本金：1億円 | 10月 | リサイクル法施行 |
| | | 12月 | ソビエト連邦消滅 |

■当社事項

■一般・社会事項

- 3月 ハリマメディカル北海道 千歳滅菌サービスセンター完成
- 3月 高度不飽和脂肪酸 (DHA) の精製技術開発
- 6月 中性ロジンサイズ剤「Nev Size」開発
- 6月 四国工場 新倉庫完成
- 7月 スイスフラン建て新株引受権付社債発行 発行総額：5000万スイス・フラン
- 8月 コンピュータリプレース カット紙レーザープリンター導入
- 8月 仙台工場 抄紙試験室、恒温恒湿室新設
- 10月 スーパーソルダーテクノロジズ(株)設立 資本金：4500万円

1992(平成4)年

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 4月 業界最軽量最薄型ノートパソコンにスーパーソルダーが初採用 5月 (株)セブンリバーを買収 資本金：1400万円 7月 時間価値向上運動展開 (92年7月～93年3月) 10月 マルハリ化成(株)設立 資本金：2000万円 10月 スーパーソルダーでBEST PAPER賞受賞 当社研究員3名(米国ISHM'92に於いて) 10月 健康食品「DHAブレインエイド」発売 | <ul style="list-style-type: none"> 3月 長崎にハウステンボスオープン 6月 PKO協力法成立、8月施行、9月カンボジアPKO派遣 8月 東証ダウ1万5000円割る 9月 学校週5日制(第2、第4土曜日)へ |
|---|--|

1993(平成5)年

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 6月 「松の化学」翻訳出版 9月 茨城工場完成 茨城県稲敷郡阿見町 敷地面積2万8000㎡アルキド樹脂、アクリル樹脂、水溶性樹脂の製造 9月 長谷川吉弘社長 国際ネーパルストアズ会議(米国)で講演 10月 ハリマ化成商事の営業権を譲受、製販統合 10月 慰霊塔建立開眼法要挙行 10月 作州武蔵カントリー倶楽部「ホテル作州武蔵」新館オープン 11月 淡色トールロジンエステル「ネオトール」開発 11月 トール油精留プラント タワー104更新 12月 ハリマ食品新加古川工場完成 | <ul style="list-style-type: none"> 1月 欧州共同体 (EC) がスタート 6月 浩宮皇太子殿下、小和田雅子さんご成婚 6月 WHO調査でエイズ患者1400万人に 7月 北海道南西沖地震、奥尻島などに被害 8月 細川連立政権成立、55年体制崩壊 ・ サッカーJリーグスタート |
|--|---|

1994(平成6)年

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 2月 経営診断実施(タナベ経営) 5月 大阪本社移転 大阪市中央区平野町 長谷川第一ビル4階 7月 アロマフリー対応インキ用樹脂開発 8月 第一回無担保転換社債発行 発行総額：50億円 10月 加古川製造所 兵庫労働基準局長賞(努力賞)受賞 富士工場 静岡労働基準局長賞(努力賞)受賞 11月 桂林播磨化成有限公司設立 資本金：506万3935中国元 12月 札幌出張所開設 | <ul style="list-style-type: none"> 6月 円レート100円を突破 7月 製造物責任法(PL法)公布 7月 全国的に猛暑・干ばつ・水不足 9月 関西国際空港開港 |
|---|--|

■当社事項

■一般・社会事項

1995(平成7)年

| | | | |
|-----|-------------------------------------|-----|----------------------------|
| 2月 | 全社パソコンネットワーク ハブネット(HUBNET) システムスタート | 1月 | 阪神淡路大震災(17日) |
| 2月 | 東京工場 ハードレジン設備更新 | 3月 | 東京地下鉄サリン事件 |
| 3月 | 蒸解助剤開発 | 7月 | 平均寿命が過去最高に、女82.98歳、男75.57歳 |
| 3月 | 阪神淡路大震災被災者に義援金贈呈 | 9月 | 公定歩合史上最低水準0.5%に |
| 6月 | 社員パソコン購入補助(6月~12月) | 11月 | 新食糧法施行 |
| 12月 | 加古川製造所 高層ラック式危険物自動倉庫完成 | 11月 | Windows95発売開始、パソコンがブームに |
| 12月 | 顕色剤(分散タイプ)開発 | | |

1996(平成8)年

| | | | |
|-----|--|-----|-----------------------------|
| 2月 | 長谷川末吉会長 松籟科学技術振興財団理事長に就任 | 3月 | 特定石油製品輸入暫定措置法廃止、ガソリン輸入自由化 |
| 2月 | 北海道工場 紙力増強剤設備増設 | 12月 | ペルー日本大使公邸人質事件発生、翌年127日ぶりに解決 |
| 4月 | ハリマ・ド・ブラジル社とハリマ・ド・パラナ社合併し、ハリマ・ド・ブラジル社に | | ・病原性大腸菌O-157猛威ふるう |
| 4月 | 米国プラズミン・テクノロジー社に100%出資 完全子会社化 | | ・小選挙区比例代表並立制で初の総選挙 |
| 6月 | ユニット採算システム(小部門別採算自主管理制度)全社一斉スタート | | |
| 7月 | 富士工場 ハードレジン設備増設 | | |
| 7月 | 桂林播磨化成有限公司 工場完成 | | |
| 9月 | ハリマ・ド・ブラジル社 工場落雷により被災(23日) | | |
| 9月 | 札幌出張所閉鎖 | | |
| 10月 | 感熱紙用バインダー、透明化剤開発 | | |
| 12月 | 東京工場 自動倉庫完成 | | |

1997(平成9)年

| | | | |
|-----|---|----|---------------------------------|
| 3月 | 加古川製造所 新顕色剤工場設備改造 | 4月 | 消費税が5%にアップ |
| 4月 | 品質保証室設置 ISO9001取得へ活動開始 | 7月 | 中国香港がスタート、香港特別行政区1国2制度 |
| 5月 | 富士工場 紙力増強剤設備増設 | 8月 | ダイアナ元英皇太子妃、パリで交通事故死 |
| 6月 | インクジェット用途工剤開発 | | ・総会屋への利益供与事件で金融機関の首脳を大量に逮捕 |
| 8月 | コンピュータリプレース ダウンサイジング用サーバー導入 | | ・サッカー日本代表、ワールドカップアジア予選突破本戦初出場決定 |
| 8月 | インターネット接続 | | ・山一証券ほか金融機関の破綻相次ぐ |
| 9月 | インターネット上にホームページ開設 | | |
| 9月 | 東京工場 反応自動化工事実施 | | |
| 10月 | 杭州杭化播磨造紙化学品有限公司設立 資本金：66万米ドル | | |
| 11月 | 北海道工場 事務所棟完成 | | |
| 11月 | 創立50周年記念式典挙行 加古川市民会館にて開催(23日) 新社歌制定 社歌2「明日に向かう」 | | |

■当社事項**■一般・社会事項**

1998(平成10)年

- | | | | |
|----|---|----|------------------------|
| 1月 | ケーシーの営業権を譲受し、加古川製造所ポリアミド工場に | 2月 | 長野冬季オリンピック、日本メダル |
| 3月 | 加古川製造所ポリアミド工場 ドラム缶破裂事故(6日) | | ラッシュ |
| 6月 | ISO9001取得 加古川製造所、中央研究所、ハリマエムア イディ、大阪本社および関連営業所(1日) | 2月 | 郵便番号7桁制実施 |
| 9月 | SS開発センター完成 | 6月 | サッカーワールドカップ日本代表初 出場 |
| 9月 | '98ネーバルストアズ国際会議、京都で開催 | 7月 | 和歌山市で毒物カレー事件 |
-

参考資料

| 書籍名 | 編者・著者・出版 | 発行年月日 |
|-------------------|-------------------------------------|------------------|
| 樹脂の採取法と其の経営 | 林 省三 | 昭和 37 年 2 月 20 日 |
| 荒川林産百年史 | 荒川林産化学工業株式会社 | 昭和 52 年 4 月 10 日 |
| 大昭和製紙五十年史 | 大昭和製紙株式会社 | 平成 3 年 5 月 |
| 日本航空国際線機内誌「AGORA」 | 1992 年 7 月号 株式会社日本航空文化事業センター | 平成 4 年 7 月 1 日 |
| 松の化学 上・下 | 編者 D.F.Zinkel J.Russell 訳者 長谷川吉弘 | 1993 年 6 月 26 日 |
| 松籟やまざ | 長谷川末吉 | 平成 7 年 12 月 1 日 |

新聞、その他

朝日新聞 神戸新聞 サンケイ/産経新聞 日本経済新聞
日刊工業新聞 大蔵省輸入統計 Naval Stores Review

(順不同)

編集後記

創立 50 周年記念事業の一環として、社史発刊が決定され、多くの方々のご協力とご指導を頂き、ここに「ハリマ化成 50 年史」を発行することができました。

編纂にあたっては、会社の進展の過程を企業文化としてとらえ、史実に基づき正確にかつ、その背景を踏まえたものをと心がけてまいりました。

資料収集に多くの方々のご協力を得た中、歴史資料の蓄積、保管の重要性を痛感いたしました。幸い、創立 30 周年に「技術に生きる-創業 30 年史」が発刊され、その際、収集した資料が残されておりました。この資料をはじめ、営業報告書、有価証券報告書、社内報「播成」「はりま」、広報誌「播磨技術ニュース」「HARIMA QUARTERLY」、ハリマ化成労働組合機関誌「あゆみ」などをもとに、諸先輩をはじめ多くの方々からの取材、資料提供等のお陰により、まとめることができました。

編纂において、当社がネーバルストアズ事業の雄として成長した 50 年の歴史の重さを痛感させられました。小史が日本におけるトール油工業の歴史の資料となれば幸いです。この社史が一人でも多くの方々に読まれ、活用され、さらなる発展に寄与できればと願っております。

当社の歴史を多面的に記すよう心がけてまいりましたが、努力が足りず、意を尽くせなかったことなど、また、編纂委員としての非力により、至らぬ点があったかと存じますが、何卒、ご容赦のほどお願い申し上げます。

本史の発刊にあたり、執筆、編集等制作全般にわたり、株式会社タナベ経営、凸版印刷株式会社のご指導、ご協力を頂きました。ここに改めて厚くお礼申し上げます。

1999 年 3 月

社史編纂委員 近藤 一雄

ハリマ化成 50 年史

1999 年 3 月 発行

■編集・発行■

ハリマ化成株式会社

〒541-0046 大阪市中央区平野町 4 丁目 2 番 18 号

■制作協力■

株式会社タナベ経営 出版課

■印刷・製本■

凸版印刷株式会社

